

鹿児島市地区バレーボールスポーツ少年団 競技運営についての共通理解事項

令和6年度

☆ 各種大会等の競技を運営していく上で、各チームの選手、指導者、育成会で共通理解したい事項です。
御理解と御協力をよろしくお願いします。

- 1 全大会・全予選・レクリエーションにおいて会場設営等は、チーム毎の当番制とする。
当番になったチームは、選手と指導者・育成会で割り当てられたコートをもつて設営する。
(当番のチームは、事前お知らせに記載しますので、必ず御確認ください。)
- 2 公式練習は、各チーム最初の1試合目のみとする。
- 3 全パートにおいて、試合は1セット21点のジュースありで3セットマッチとする。
ただし、3セット目は、15点のジュースありとする。また、リンクトーナメント方式で実施する。
- 4 混合パートについては、コート内が必ず男女共出場していなければならない。人数規定は男子は3名以内とする。(試合中のけが等でどうしてもコート内が混合にならない場合は、この限りでない。)
- 5 シードについては前回大会の成績を優先とし、シードチームが出場しない場合は、累積されたシードポイントをもとにシードチームを決定する。春季・交流・5年生以下大会はシードチームを設けない。
ポイントは、優勝…10、準優勝…8、第3位(2チーム)…6 とする。
(第3シードについては、準決勝で優勝チームに敗れたチームとする。また、ポイントが同じになった場合は、前回大会の順位を優先する。)
- 6 試合間は10分間とし、連続する場合や状況に応じては本部の判断による。
(できる限り試合開始時刻等をアナウンスする。)
- 7 予選リンクの順位は、
勝率 → セット率 → 得点率 → 直接対決していた場合は勝利チーム
→ 総得点の多いチーム → 総失点の少ないチーム
の順で判断し、決定する。尚、 $\text{得点率} = (\text{総得点}) \div (\text{総失点})$ で算出し、値の大きい方が良い。
- 8 昼食時間は原則として設ける。ただし、試合進行状況に余裕がない場合は、この限りではない。

- 9 年間を通じて、1・2セット目はどちらかのチームが11点、3セット目はどちらかのチームが8点先取した時点でテクニカルタイムアウトを設ける。その際は、ベンチスタッフは選手健康観察を行い、不調が疑われる選手には直ちに対応する。(給水の準備は必須であるが、給水を行うか否かの判断は選手本人の意思による。)
- 10 ベンチ内での服装をしっかりとする。
(別紙資料「鹿児島市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会服装規定」参照)
監督、コーチ、マネージャは、必ずバッジを着用し、統一する。また、Tシャツやベンチコート等は禁止とする。ハーフパンツは、熱中症対策の一環として認める場合もある。その際は、ホームページにて連絡する。
- 11 大会中に起きた事故やけがについては、本部では一切責任を負わない。各団で対応すること。
- 12 試合をしていないコートの使用については、隣接するコートが試合中の場合は、ボールを使用する練習等は禁止とする。ただし、次にそのコートで試合をするチームの試合前練習は除く。なお、ボールを使用しないウォーミングアップ等は可とする。(ネットを張っていない空きコートについても同様とする。)
- 13 体育館使用規則を守り、ゴミ等は必ず持ち帰ること。また、忘れ物がないように各団で必ず確認すること。尚、学校が会場になる際は、敷地内禁煙のため厳守すること。
- 14 同一大会において、同一パートに1団体2チーム出場することはできない。パートが異なる場合は、出場できる。ただし、A・Bパートが分かれていない場合は、同一パートに2チーム出場できる。その際は、開催日時が別日であれば、監督が同一人物でも構わないものとする。
複数チーム出場する場合は、選手の二重登録がないように注意すること。発覚した場合は失格とする。
- 15 弁当等注文されて引き取りまで業者にしてもらった場合は、帰る前に必ず引き取りに来たかを各団で責任をもって確認すること。
- 16 応援の際、乳幼児を抱っこやおんぶしている場合は、最前列では行わないこと。(転落事故防止)
また、応援者同士の間隔を十分に保ち、発声はしないこと。

☆ 指導者・育成会の御協力をよろしくお願ひします。
主役である子ども達のために・・・!